

社会福祉法人 広島県肢体障害者連合会  
セルプ宇品 季刊紙

# minato ujina

— みなとうじな —



minato ujina  
みなとうじな

二〇二三年夏号 通巻第五十九号 発行/社会福祉法人広島県肢体障害者連合会 セルプ宇品(二〇二三年九月)  
〒七三四〇〇〇三 広島市南区宇品東六丁目二番二〇号 電話/〇八二一五三二一〇八二 FAX/〇八二一五四一三四一〇

## CONTENTS

■ 近況報告	1	■ 新職員紹介	3
■ 花見弁当	2	■ 決算報告	4
■ お茶会	2	■ イオン黄色レシート御礼	4
■ ペイシティグリーンロード	3	■ 編集後記	4
■ お知らせ	3		



## 障害者支援施設セルプ宇品近況等

施設長 小谷貴弘

暑すぎる夏にもようやくかげりが  
見えてきましたが、皆様お変わりな  
くお過ごしでしょうか。

ここ、セルプ宇品でも、新型コロ  
ナウイルス対策に加えて熱中症対策  
にも気を配る日々です。(8月25日  
現在)

新型コロナウイルスは、市内の他  
施設の話聞きますと、職員利用者  
合わせて五〇名感染したところや、  
ワンフロア全員が感染したところも  
あるという話を聞いています。職員  
も含めてクラスターが発生した施設  
は、当然人手不足に陥り職員が疲弊  
しそれは大変だったようです。

セルプ宇品では、職員家族や利用  
者さん家族が感染したことがあります  
でしたが、職員本人、利用者さん自身  
は感染せずに過ごせておりました。  
しかし先日初めて通所利用の方が感  
染されました。その報告を受けたと  
きは本当に背筋が凍り付きました  
が、幸いなことにご本人は無症状で、

他の利用者の方や職員への感染拡大  
はありませんでした。

今回の第七波では外出制限等はあ  
りませんでした。制限をすることに  
より経済が滞る、コロナ鬱等精神を  
病む人が出てくる等弊害があるのは  
わかりますが、当施設のように、集  
団生活で基礎疾患がある方が多い所  
や、高齢者の方にとっては見捨てら  
れたような感が拭えません。我々は  
勿論外出等は必要最小限に抑えて生  
活していますが、これだけ爆発的に  
感染者が増えると、前述の他施設の  
ように必要最小限の行動をしていて  
も感染リスクは高くなるのです。

今となつては手遅れですが、早め  
の行動制限、小刻みな行動制限、感  
染者の詳しい情報公開等やり方は  
あつたように思います。

弱者が切り捨てられるような世の  
中では、明日は我が身。いずれ自分  
自身も切り捨てられるのではないで  
しょうか。

## 令和3年度決算報告書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日現在

総括財産目録		総括貸借対照表	
令和4年3月31日現在 (単位:千円)		令和4年3月31日現在 (単位:千円)	
資産・負債の内訳	金額	資産の部	負債の部
I 資産の部		流動資産	138,338
1 流動資産	138,338	流動負債	13,381
2 固定資産	462,169	固定負債	4,398
資産合計	600,507	固定資産	462,169
II 負債の部		基本財産	413,172
1 流動負債	13,381	純資産の部	
2 固定負債	4,398	基本金	108,656
負債合計	17,779	国庫補助金特別積立金	295,294
差引純資産	582,728	その他の積立金	26,780
		次期繰越活動増減差額	151,998
		純資産の部合計	582,728
		資産の部合計	600,507
		負債及び純資産の部合計	600,507

## 総括資金収支計算書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日 (単位:千円)		
事業活動による収支	収入	212,200
	支出	201,917
	収支差額	10,283
施設整備等による収支	収入	0
	支出	4,069
	収支差額	△ 4,069
その他の活動による収支	収入	2,851
	支出	2,570
	収支差額	281
当期資金収支差額合計		6,495
前期末支払資金残高		123,060
当期末支払資金残高		129,555

## 総括事業活動収支計算書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日 (単位:千円)		
サービス活動増減の部	収益	210,385
	費用	209,278
	増減差額	1,107
サービス活動外増減の部	収益	1,815
	費用	4
	増減差額	1,811
特別増減の部	収益	2,851
	費用	2,200
	増減差額	651
当期活動増減差額合計		3,569
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	148,429
	当期末繰越活動増減差額	151,998
	その他の積立金取崩額	0
	その他の積立金積立額	0
	次期繰越活動増減差額	151,998



助成いただき  
ありがとうございます

イオンリテール株式会社様は、社会貢献活動の一つとして、地域の様々な団体へ「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を通じ、物品による助成を行われております。セルプ宇品も毎年助成をいただいております。本年も洗剤などの消耗品をいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

## 編集後記

今年の梅雨はあっという間でしたね。いつもは梅雨が長引くと"もう7月なのに!"と、夏が短くなったようで損した気持ちになっていましたが、まさかまさかの戻り梅雨って!そんな言葉初めて聞きました。ジメジメネチネチと勘弁して欲しい暑さが明け、本格的な夏を迎えても各地で大雨の災害が後を絶たず居たたまれない気持ちです。今年の夏は皆さんどう過ごされたのでしょうか。施設長の言葉通り、世間の動きと施設での生活のギャップ。経済を回す事は勿論、ストレスを抱えないようにする事も勿論、様々な意見がある事は分かっている、今をどう過ごしていくのか。自分にとっての有意義な時間と、携わっている事に対する責任ある時間のバランスを取りながら過ごせるように、と難しい課題ですが日々自問自答しています。(木村あ)

## 花見弁当

4月7日 お花見行事として、昼食にお花見弁当をお出しいたしました。

郵政研修所がなくなり数年が経過、窓から見えていた桜の木もなくなり淋しく感じています。食堂の会場は例年と同じく桜の木と壁面の大きい桜で雰囲気はお花見気分。外の桜にも負けません(笑)

にぎり寿司をお出しする機会が減っていますので、この日はサラダ巻きなどと盛り合わせに。お魚や和え物に卵焼・桜餅・コロッケやウィンナー・フルーツなどなど。

最近皆さんの体重が気になり量はやや少なめに。私たちの年代では丁度良かったのですが、若き利用者さんにはやや少なかつたかもしれませんね。

にぎり寿司もつと食べたかった…との声もありましたが、お楽しみは又次回にとっておきましょう。

コロナ禍の利用者さん職員が一緒に集う機会もないので、早く落ち着いてほしいです。

来年的お花見はもっと賑やかに開催できますように。  
(吉村)



## お茶会

6月16日に誕生日会を兼ねた、お茶会を実施しました。蒸し暑い日々が続いていたので、フロートを飲んでもらおう!と委員会でも企画しました。コーヒー、コーラ、ソーダ、オレンジジュースの中から好きなものを選んで頂き、特大のバナラアイスに乗せて迫力を出しました。人気はやはりコーヒーフロート。苦味と甘味の組み合わせが好評でした。

コロナ禍で生活が一変し、外食も以前のように楽しむことができない状況ですが、密を避け、黙食を意識しながら、施設内で気分をリフレッシュできるイベントをこれからも企画していきたいです。次回のお茶会は9月を予定しています。何をするかは、お楽しみに♪

リクエストもお待ちしています。  
(石野)



## ベイシテイ グリーンロード

(中広宇品線緑化ボランティア)

令和4年6月25日(土)に今年度第1回目となる地域清掃を行いました。

今回もコロナ禍のため、来られた方から随時準備をして、清掃及び花苗の植え込みの作業を行いました。毎年のことですが、この時期の開催は梅雨の時期と重なり雨の心配がありました。前日の朝の天気予報では雨から晴れに変わり安心をしておりました。

その後いつの間にかまた雨が降る予報に変わっていました。最終的に清掃の時間は曇り空となり、終わった後に雨が降り、花苗の補植作業としては最高の状態となりました。イオン宇品店からも前回に続きたくさんの方が参加され、活気のある活動となりました。

今年度の助成金で布製の大きな横断幕を作成することが出来ました。今までは紙製でどこどこ破れていたもので、丈夫で見栄えも良くなり大変喜んでおります。またピッケル(鍬)など備品も増え、効率的に花苗を植えることが出来ました。今回も皆様の助勢のお蔭で無事終えることが出来、感謝申し上げます。

(木村)



## 新職員紹介



員 支 援 員  
久 田 久 海  
津 田 久 海

初めまして。

令和4年6月より、5ヶ月間でですが働かせて頂く事になりました。津田 久海です!

久しぶりの福祉の現場で、少しドキドキしましたが、利用者様が声を掛け下さったり、雨の日にはバイクで来ると門を開けて下さったりと親切にして下さるので、ドキドキもなくなり、楽しくお仕事をさせていただいております。

みなさんとの時間を大切に一緒にお仕事をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。(津田)

## お知らせ

私事ではございますが、昨年10月下旬頃から著しく体調を崩してしまい、療養のためしばらくのお休みと担当業務の分担等御配慮を頂きながら春先まで勤めさせて頂きました。おかげさまで少しずつではありますが回復の方向に向かっておりますが、今後も当面は加療を行いながらの生活が続くこともあり、以前のように正職員としての業務内容を熟すにはまだまだ難しい状況ということで、5月から非常勤職員として勤めさせて頂くこととなりました。約9年間正職員として幅広く業務に携わらせて頂いたことで、多くの経験を積むことが出来、ご利用者様・ご家族様をはじめ関係者の皆様には感謝申し上げますとともに、ご報告が遅くなりご迷惑とご心配をお掛けいたしましたことをお詫び致します。

生活支援員 鳥羽 琢二